

2023.9.1 発行

あ・し・た

いする

んじる

のしむ

第11号



発行元：宗像市福祉ボランティア活動連絡協議会

TEL：0940-37-4100(宗像市ボランティアセンター)

第39回 ボラ連総会

今年度の総会は令和5年4月20日(木)にメイトム宗像202会議室で行われました。昨年度まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面表決で行っていたから、実に4年ぶりの対面での開催となりました。

会員総数133人のうち出席者29人、委任状84通(合計113人)でした。今年度総会からかたつむりの会が新規加入をし、加盟団体は11グループとなりました。

総会后、20人が参加して和やかな交流会が開かれました。その後におもちゃライブラリーの活動を見学しました。

今年度も引き続き「ボランティアをしてほしい人や新しい会員を増やすための活動」を行っていく予定です。(活動の紹介、チラシの作成及び施設などへの配付等を行います。)

新役員紹介

事務局長に森結花さん、運営推進委員に本田文人さんと稲葉純子さん



推進委員：稲葉純子
(こやぎ座)



推進委員：本田文人
(ひばり)



事務局長：森結花
(かたつむりの会)

みなさん、よろしくお願ひします

♡ 40周年記念事業のアイデア募集 ♡

来年度ボラ連が発会40周年を迎えるにあたって、記念事業のアイデアを募集します。12月6日(水)の代表者会議までに各グループの考えをまとめて、書面にて提出をお願いします。

バリアフリー演劇「Touch～孤独から愛へ ORPHANS～」

6月3日(土)抱樸プレゼンツ『希望のまち』企画、東京演劇集団“風”による「Touch～孤独から愛へ ORPHANS～」がウエル戸畑にて上演されました。

バリアフリー演劇とは、見て、触れて、演じる実体験を大切にした演劇公演です。ライブ音声ガイド・舞台手話・字幕の情報に加え、あらゆる人が舞台に触れ、劇空間をイメージできるステージツアーや舞台説明、出演者の自己紹介、俳優・スタッフとの交流などが行われました。

二人の孤児の兄弟と謎の紳士ハロルドとの出会いから物語が始まります。「デッド・エンド・キッド(行き止まりの子どもたち)」が閉ざされた心を開いていきます。

ボラセンから情報を得て足を運んだ会員の1人は、最後は涙があふれて止まらない、ストーリーも取り組みも素晴らしい、との感想を述べていました。



ステージツアーの様子

全体研修

福岡市民防災センター



ヘリコプター試乗体験

7月1日(土)に外部研修で福岡市民防災センターへ行きました。大雨のため予定を一部変更し、午後から大型バスで出発、参加者は手話通訳2人を含め18人でした。

研修内容は、自然災害の疑似体験と講義を受けました。実物の消火器を使っての消火活動や震度7の地震体験、暗く煙が充満する室内での避難訓練などを行いました。中でもVRゴーグルを装着して可動式の椅子に座り、増水した街中を逃げる水害体験は、まるでそこにいるかのような恐怖を感じました。

どの体験も災害をリアルに感じる事ができて、もしもの時に役に立つ有意義な研修となりました。

役員研修

公開講座クロスカレッジ「笑い与健康」～ 笑いヨガ

8月23日(水)日本赤十字九州国際看護大学で行われた「いきいきシニア世代の健康づくり講座」に、役員とボラ連会員計9人が参加しました。ナマステ笑い、手拍子と掛け声、子どもにかえる笑い、アロハ笑いなど、腹式呼吸で「ホ！ホ！ハハハ！」とにぎやかに笑いヨガを体験しました。



笑いヨガ体験

その後、構内を見学し、学生ボランティアの「ドクターヘリに乗りたくて」などの夢を聞き医療に携わる若者たちに明るい未来を感じました。